



# 川口けいすけのグリーンズ川越

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介 (無所属)

〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 無所属議員控え室

TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail kawaguchi-keisuke@outlook.com

94  
SINCE 2003

## 令和6年度年度一般会計予算質疑より

### 指摘

### 財政調整基金を取り崩さなければ当初予算が組めない現状は大きな課題

令和6年度予算は、多くの自治体と同様に、**過去最高の予算規模**となりました。これは、年々増大する民生費(福祉関係予算)や、物価高騰の影響、子ども医療費の助成を18歳までに引き上げるなどの施策によるものです。

しかし、私が予算規模以上に注視しているのが、**財政調整基金残高**です。今年も、年始に能登半島地震があったばかりですが、「**緊急時の備えでもある財政調整基金を取り崩し、当初予算に組み込まなければが予算が組めない本市の現状は大きな問題である**」と指摘した上で、**予算決定後のさらなる基金の取り崩しには、特に慎重な対応を求めました。**

ちなみに、令和4年度は財政基金残高38億円の中から34億円を取崩し、5年度は44億円の中から37億円を取崩し、6年度は77億円の中から56億円を取崩して予算を組んでいます。もっと言えば、6年度の77億円の内、約33億円は今度の3月議会補正予算で積み立てられたものです。

### 学校関係予算を問う

～ これで適切な予算措置がされていると言えるのか?! ～

これまで、エアコンの設置など大きな予算を投入し、教育環境の整備には重点的に取り組んできたとの答弁がされていますが、その他の設備等へ適切な予算措置がされているのかを予算質疑において確認しました。

学校施設・設備の整備について、修繕の積み残しがどのような影響を及ぼしているのか聞きました。答弁では、**予算の範囲内での執行となるため、次年度以降の対応になってしまう修繕もあると強調した上で、「水道の蛇口や便器の不具合を修繕しきれず、使用禁止にすることにより、使用可能な設備に児童が複数並んでいる」との報告を受けている**との現状が示されました。

校庭の遊具については、予算の範囲内での執行であること、点検において修繕が必要と判断されてから、教育委員会が把握するまでに半年を要するなどの事務執行の不利も重なり、結果的に修繕に1年以上かかることがある現状も明らかになりました。

また、グランドピアノも、老朽化により頻繁に調律が必要になっていたり、卒業式で使用するために、直前に調律することで対応している例もあるようでした。



### エアコン設置の陰で

ここ数年で普通教室のエアコン設置が完了し、特別教室への設置も進められ、今後は、体育館への設置も進められます。一方で、現場の声とは裏腹に古いトイレの更新完了は、令和10年度になる見通しです。

もちろん予算には限りがあり、国からの補助金を頼みにしていることも大きな要因ですが、少なくとも学校教育における必要な予算は適切に配分されるべきです。基本的には学校で子どもたちが、あれは壊れているから使えない、これはないから今年は出来ないなどということが無いようにすべきだと訴えました。

### 財政部門の考えは?

現状では、結果的に必要なところに予算措置がされていないのではないか?そもそも足りないのか?財政部の見解を求めました。答弁では、「**予算査定は、予算要求に伴い提出された資料や、その後の事業課とのヒアリングを通じて、個々の予算措置の必要性を判断している。学校設備等への対応については、教育委員会から現状や方針を確認した上で、適切な予算措置に努めたい。**」との考えが示されました。